

様式 (第8条関係)

議長	副議長	局長	次長	係長	係長

角田市議会 議長 殿

政務活動費に係る収入及び支出の報告書

平成28年3月31日

会派名 創生会

代表者 小湊 毅



角田市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、平成27年度政務活動費に係る収入及び支出について下記のとおり報告します。

記

1 収入 政務活動費 60,000 円

2 支出

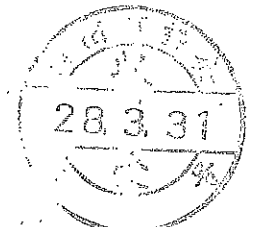
(単位：円)

項目	金額	備考
調査研究費	16,781	
研修費		
広報費	43,219	
公聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合計	60,000	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額 0 円

4 経理責任者 武田 暁



支 出 伝 票

		整理番号	/		
会派名	創生会				
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 公聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費				
実施年月日	27年11月24日	支出年月日	27年11月24日		
支出金額	16,781 円	按分率	100 /100	按分後の額	16,781 円
支出先	別紙のとおり				
使途内容	視察研修				
備考					
領収書添付欄 別紙のとおり 「政務活動費活動記録簿」は政友会に添付（合同視察のため）					

※領収書は重ならないように添付してください。領収書添付欄が足りない場合は、裏面を使用してください。

政友会・創生会合同研修会収支決算書

政務活動費対象分

収入	政務活動費	180,000
	創生会(2名)	60,000
	合計	240,000
支出	事前資料作成費1	2,654
	事前資料作成費2	2,786
	お土産代	4,170
	高速代(行き)	4,460
	昼食代	9,600
	研修資料代	25,920
	高速代(帰り)	5,360
	レンタカー代	12,172
	合計	67,122

人数割り 8,390

政務活動費分精算結果	収入額	負担額	調整額	調整後	返還金
政友会(6名)	180,000	50,340	1	50,341	129,659
創生会(2名)	60,000	16,780	1	16,781	43,219
合計	240,000	67,120	2	67,122	172,878

様式第8号「政務活動費活動記録簿」を領収証付
政友会にお付

R0001-#0232

領収証

00019975号



角田市議会 政友会 創生会 様

¥2,654

(消費税等 ¥196を含みます。)

但し、御品代(用紙代、フラットファイル代)として
2015年11月10日 上記正に領収しました。
ケーヨーデイツー 大河原店
電話:0224-51-3281
保管のお願い 印字面を内側に折って保管して下さい



管理No. 0460-702-0011687

角田市議会
政友会 創生会 様

領収書

伝票No: 0460-702-250465

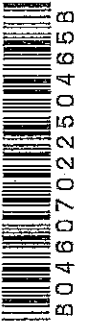
発行日: 2015年11月10日

内訳 現金 ¥2,786 (内消費税 ¥206)

但しプリンター代として。
上記の金額正に領収いたしました。
株式会社ヤマダ電機
群馬県高崎市栄町

印紙税申告納
付につき高崎
税務署承認済

※印刷面を内側に折って保管願います。



804607022504658

2015年11月23日

領収書

一連No 000058
領収No 007402

角田市議会 政友会 創生会 様

¥4,170-

(但し菓子詰め(2箇)として
正に領収致しました)

税抜金額
¥3,861
消費税等
¥309



収入印紙

毎版ありがとうございます
角菓子処 小田嶋
角田市角田字町249
☎0224-62-2206

印刷面を内側に折って保管願います

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領収書

料金所 紫波
NEXCO 東日本お客様センター
0570-024-024
PHS、IP 電話の方はこちら
03-5338-7524

15年11月24日10時45分

車種 普通

通行料金 ¥4,460-
(現金)

一入口料金所 村田

ハイウェイカードの払戻しを平成28年
3月31日で終了させていただきます。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区墨江3-9-2

取扱番号 206-00980698-00

領収証 政友会 創生会 様

No. 033339

平成27年11月24日

金額 ￥9600

但 お食事代として (8名分)

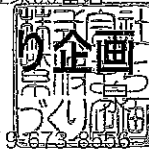
27年11月24日 上記正に領収いたしました

印
紙

内 訳
現金 _____
小切手 _____

〒028-3444
岩手県紫波郡紫波町小屋敷字新在家90番地

株式会社 紫波まちづく
代表取締役 熊 谷



担当者
堀田

☎019-673-8555 FAX019-673-8556

領 収 書

No. _____

政友会・創生会 様

平成27年11月24日

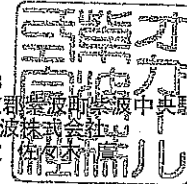
金額 ￥25,920 -

但 オガールプロジェクト視察研修費として

上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額 ￥24,000-
消費税額 ￥1,920-

〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2丁目3-3
オガール紫波株式会社
代表取締役



ご利用ありがとうございます。
 NEXCO 東日本
料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 山元
NEXCO 東日本お客さまセンター
0570-024-024
PHS、IP 電話の方はこちら
03-5333-7524

15年11月24日19時02分
車種 普通
通行料金 ￥5,360 -
(現金)

入口料金所 - 紫波
ハイウェイカードの払戻しを平成28年
3月31日で終了させていただきます。
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号 212-00401638-00

領 収 証

No.042630

政友会 創生会 殿

平成27年11月24日

領収金額	百万	千	円
	7	12,172	

印 紙

但し

油 代

その他にガソリン代

取扱者印
日黒

上記金額正に
領収致しました。



JX日鉱日石エネルギー株式会社特約店

やしろ商事株式会社

角田給油所 角田市角田旭町32-4
電話 (63) 241-1111
丸森給油所 丸森町日野1-1
電話 (72) 241-1111

120516501

<参考> ガソリン代内訳

ENEOS

納品書(領収書)

2015年11月24日 19:20

売上
現金フリー 様 M
04134-900000-359
現金フリー
車両番号 実車番
2000-00
ENEOSレギュラー P-02
36.00L *

127円 ¥4,572
合計 ¥4,572
(内消費税等(8.00%) ¥339)

現金でお買上げの場合は領収書にかえさせていただきます。
やしろ商事 株式会社 角田SS
宮城県 角田市
角田字旭町32-4
TEL:0224-63-1311 SS-004134
サイトNo 4994-01 データNo3771-3772
006今野 秀樹 2015/11/24

支 出 伝 票

		整理番号	2・3	
会派名	創生会			
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 公聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費			
実施年月日	平成28年3月9日	支出年月日	平成28年3月9日	
支出金額	43,219円	按分率	100 / 100	按分後の額 43,219円
支出先	(株)イーアンドイーホールディングス(有)河北新報角田専売所			
使途内容	広報誌印刷、広報誌新聞折込			
備考				
領収書添付欄				

※領収書は重ならないように添付してください。領収書添付欄が足りない場合は、裏面を使用してください。

領収書添付用紙

領収書

No. 011488

創生会

様

H28年3月9日

金額					
		¥	20	574	

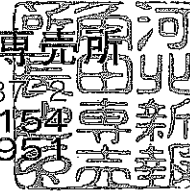
但 折込手数料 19050 円・消費税 1524 円
上記正に領収いたしました

取入
印紙

折込日	3/10 入れ
枚数	6350 枚
備考	

(有)河北新報角田専売所

角田市角田字泉町 137
電話 (0224) 63-3154
FAX (0224) 62-0954



※領収書は重ならないように添付してください。

領収証

和洋商會 創設会

様 No. 04218-12013

¥35,618 (円)

但 5/10代 6/18 (5/17/18)

入金日 5月 9日

日 上記正に領収いたしました

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋一丁目
株式会社イブドットコム

TEL 03-6212-0241 FAX 03-6212-0242

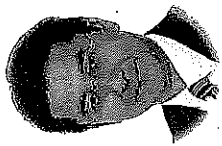
内訳

振込金額

消費税額等 (. %)

この領収証は毎年4月1日現在の日付で有効です。

収 入
印 紙



発行巻 市議会議員 小湊毅 角田市笠島字竹ノ内6番地1 tel:090-5559-3730
市議会議員 武田暁 角田市岸山字横町27番地 tel:090-9535-8203

武田暁

11億円の道の駅を考える。

賑わいの交流拠点施設整備(以下、道の駅)計画が平成24年に示され、4年が経過しました。角田中央公園南側に建設予定として、現在開会中の議会に土地購入と建物の設計予算、約1億円が上程されました。角田市の産業振興の起爆剤となるのか、市民の皆様の大きな関心ごとであると思えます。今本当に道の駅を作るべきなのか?どんな中身なのか?経営は安定するのか?

2月議会で予算が通過すれば、以下の通り計画が進むこととなります。

総事業費は約11億円

1人当り約40,000円の負担となります。国補助金が約4億円といえ、約7億円が角田市負担です。そのうち約5億円は約25年先まで返済する借金になります。誰が借金返済をするのでしょうか?

建物建設・土地取得のみを優先

運営に関わる人の意見を聞くことなく道の駅建物の設計を行っています。誰が1年を通して品揃え豊かに出荷してくれるのか、誰が何を加工して商品にしてくれるのか、誰がどこまで責任をもって運営していくか全く不明です。こんな計画でいいのでしょうか?

運営は株式会社第三セクター

出資者は資本金5000万円を出資する角田市のみが決まっています。今後出資者を広く募るといえる、この株式会社の社長は、市長が就任予定です。赤字が発生した場合、誰が赤字補填をするのでしょうか?

売上目標2億5千万円、利益目標は21万円

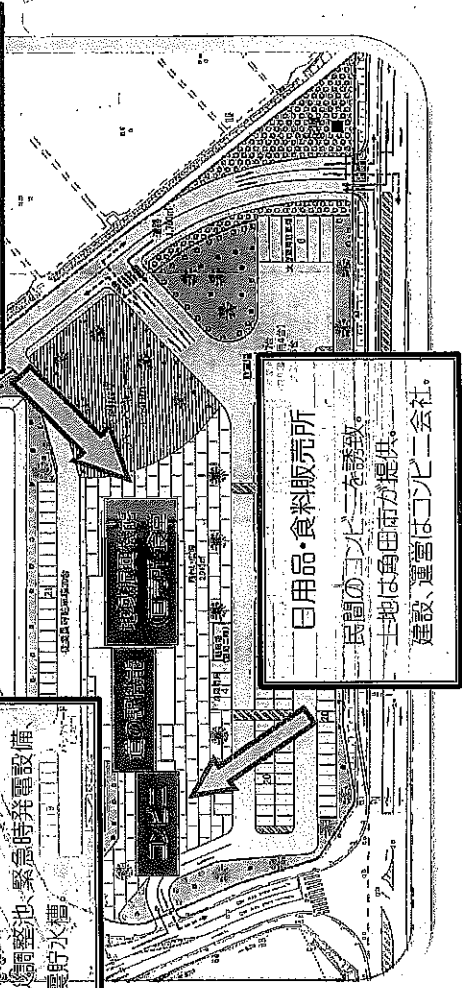
毎年指定管理料として市負担で1000万円を拠出することを前提とした数字です。開業後5年後の目標でも売上目標は、2億7000万円、利益目標は、300万円です。誰の為に何をやる道の駅なのでしょつか?

道の駅機能施設

- 総合案内機能
- 角田市の観光・飲食店情報、気象情報を発信。
- 交流体験機能
- 休憩広場や賑わい広場等で交流の場を提供。
- 防災機能
- 防火調整池、緊急時発電設備
- 耐震貯水槽

地域振興機能施設

- 農産物直売所
- 米・豆・梅・野菜等販売
- 農産加工室
- 米・豆・梅等の加工
- フードコート(食堂)
- パン、ラーメン、そば等の提供



日用品・食料販売所

民間のコンビニを誘致。
土地は角田市が提供。
建設、運営はコンビニ会社。

平成24年最初の計画では事業費は約4億円でしたが、今では約11億円の計画になっていきます。直売所に出荷して頂く農家の方との協力体制が何よりも大切であるのに、それをせず、市の想いだけで道の駅の建物の建設を行おうとしています。我々、創生活会は道の駅計画を根本的に見直すため活動して参ります。皆様の道の駅に対するご意見を頂けますようお願いいたします。

ご意見をお寄せください!



souseikai.kakuda@gmail.com



022-774-2038 (e-fax)

道の駅、作ってホントに大丈夫？

創生会は、議会において抜本的見直しが必要であると以下の通りの意思表示しました。以下、3月8日議会での自由討議における発言要旨です。

(1) 角田市の現在及び将来の財政状況を考慮した上で、

道の駅の建設と道の駅の収支予測について。

角田市の借金は平成22年には100億円まで残高が減りましたが、市民センター建設等により、平成29年度には140億円と約40億円も増加します。財政が厳しいと言われている中、道の駅という新たな箱物をまた建てるのかという危機感を抱いています。道の駅建設については慎重に検討し、本来の世代に無理な負担を負わせないよう財政の健全化を推進すべきです。

道の駅の収支予測については、市が示している収支の根拠は、約4年半前の平成23年10月の交通量調査によるもので、最新のデータはありません。最新のデータがない中で、収支を予測することができざるわけがありません。

創生会は2月25日(木)角田市総合体育館南側の東西方向のみですが交通量調査を行いました。その結果、市提示の数字から交通量が15%下落していることが見えました。

平成31年度のオープン時には更に下落すると予想されますので、最新のデータに基づいて収支予測を今一度精査する必要があります。

(2) 道の駅の案において有する機能は、①産直・物販機能、②交流・体験機能、③総合案内機能、④防災機能、⑤道の駅機能であるが、これらのうち①～④の機能を角田市が発揮する為に、道の駅がどうしても必要なものか。

市民センター、スポーツ交流館、総合体育館、中央公園、台山公園、市役所等(調理施設や駐車場含む)の現在角田市が有している施設、資源を活用することで道の駅で行おうとしている産直・物販、交流・体験、総合案内、防災の機能を実現できるので、道の駅の建物が必ずしも必要ではありません。

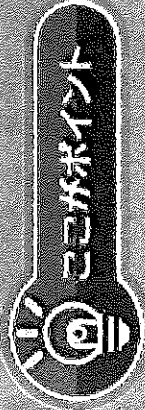
農家の方々との協力体制を作ることが何よりも先ではないか？

建物は実際に使う方と相談して設計すべきでは？

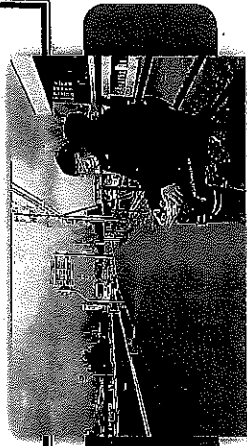
地元産業の活性化につながるのか？

経営予測があまりにも甘くないか？

財政状況は本当に大丈夫なのか？



ここがポイント



2月25日木曜日、角田市総合体育館前での交通量調査。朝7時から夜7時までの12時間に亘り、普通車、貨物車等の車種別に調査しました。

(3) 「道の駅を作ることを決めてから運営会社、出荷者組合、加工者等の体制を作っていく」のが良いのか、それとも「あせらずに今ある施設設備等を使って活動を開始し、実際の販売等を通して考え、その後、道の駅の建設について改めて考える」のが良いのか。

全国に1079の道の駅があります。設立の際には各自治体の中で非常によく活発に議論がなされており、最近の事例を調べました。

隣町の大河原町では、上下4車線になる国道4号線金ヶ瀬地区内に道の駅構想が掲げられ、まず補助金を活用してハードである上物を建築し、出資者、運営主体、生産者等のソフト面については、走り出してから考えるというものであったこと。地元農家等から反対の声がある等して、実現されませんでした。角田市が推進している計画と全く同じと考えています。

先般の農業経営者会議の皆さんとの一般会議では、「角田市が今後の農政の道しるべを示さないばかりか、農業振興公社の事務局長不在、そして農家の後継者問題への明確な指針を示していない」と厳しい指摘がありました。産直への出荷以前に、農家との信頼関係すら構築できていないばかりか、道の駅の構想に対して根幹をなすべき方々から否定されており、市民との協働が初めから崩壊している状態です。市が示す政策は、市民目線から非常にかけ離れており、このような状況では、将来に亘る農産物の安定供給は望めません。

一方、東京都初の道の駅となった、「道の駅八王子滝山」内に「ファーム滝沢」という農産物直売所があります。(開業時平成19年度の八王子市の人口は約41万人)平成19年度の道の駅の駅開業の3年前から農産物直売所運営準備委員会を設立し、109戸の農家の中から60戸を選定して経営把握を行いました。普及指導員をおき、農産物の栽培指導から経営までの一貫したコーディネートを行い、農家の力をつけることに力を注いだそうです。

同時に女性起業による加工品販売を支援し、地域農作物の試作導入、特産農産物の販売促進も行なった結果、開業時に目標であった売上2億円を突破し、その後も継続的にPDCAサイクルを徹底したことによって開業から4年目の23年度には売上4億円を突破しました。人口の多い八王子市においても4億円を売上げるのに相当な努力を払っています。

現在の角田市の案では、人口も少なく、農業や起業家支援という対策もない中、また最新の交通量データもない中で、道の駅を開始することは無謀と言わざるを得ません。農家や起業家の支援を充実させる等のソフトの充実、体制作りをしっかりと作り作った後、ハードである上物である建築物を考えていくのが、妥当なビジネスプランであると考えています。

今回の道の駅の案は、抜本的な見直しが必要であると考えます。

